

第 63 回 全沖縄中学校バレーボール選手権大会

新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン

大会実施時の感染予防対策について

(1) 感染源を絶つ

- ① 風邪の症状（発熱、咳、鼻汁、咽頭痛、頭痛等）がある選手や引率者等を、大会に参加させないことを徹底する。
- ② 大会に参加する全ての方へ大会前 10 日分の体調を記録した「体調記録表」（別紙 1）の記録を求め、健康管理を徹底する。※チームに感染対策責任者をおき、これを管理保管する。
- ③ 大会当日、各会場の感染対策委員に、学校同行者体調記録表（別紙 2）を提出して、選手や引率者への体調を確認するとともに、大会中、選手や引率者等に体調不良がある場合は、大会本部（専門部）に申し出ること。複数の体調不良者が出た場合は、チームの出場に関して学校長の判断を仰ぐこと。
- ④ 学校同行者体調記録表（別紙 2）に記載された者以外（大会役員、審判員、管理職など）の来場者に対し、来場者体調記録表（別紙 3）に必要事項を記載し提出をさせるとともに、来場後の 3 日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、大会本部に速やかに報告することを徹底する。
- ⑤ 大会会場内への出入りは、大会役員、管理職、大会参加者（エントリー名簿）とそのチーム関係者 14 名以内（大会三日目は 50 名以内）と登録外部員とし、入場制限を行う。ただし、選手・マネージャー・チーム関係者・登録外部員に関しては、試合をする場合のみ館内に入ることができる。（選手・マネージャーは生徒役員の場合も入館可。西原町民体育館では常時入館可）※未就学児はチーム関係者 14 名の人数に数えない。チーム関係者の入れ替えは、当日は不可で日毎は可とする。
- ⑥ 引率者（または感染対策責任者）等は、集合時から解散時まで選手の健康観察を徹底する。
- ⑦ 大会本部（専門部）及び引率者等は、大会中に選手等の体調不良を確認した場合、医療機関および保護者等と連携し、安全に帰宅させるなどの対策を講じる。

※感染対策責任者は、チーム内の監督・コーチ・引率者の中から選任するものとする。

(2) 感染防止の 3 つの基本

- ① 監督会議等を実施する場合、人と人との間隔が、できるだけ空くよう、広くするなどの工夫をする。
- ② 引率者等は、集合時、待機中、休憩中及び食事中などにおいて、選手同士・競技役員との間隔ができるだけ空くように指導する。
- ③ 大会本部（専門部）及び引率者等は、対戦相手や審判等との握手、仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、~~ハイタッチ~~などの実施を制限する。
- ④ ~~選手、引率者等及び大会関係者にマスクを準備させ、大会中は、競技等実施時及び食事中を除いて、基本的にマスクを着用し、咳エチケットを徹底させる。ただし、試合中、公式練習、アップの際や気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう選手に指導する。※選手控え場所、生徒役員の際は、マスクを着用する。~~
※マスクの着用は任意とするが、着用することが望ましい。
- ⑤ 館内では、声を出しての応援はできないマスクを着用していれば、声を出しての応援を認める。鳴り物等を用いての応援は、西原町民体育館のみ使用を認める。（試合進行の妨げにならないようにする）

(3) 3つの「密」(密閉空間・密集場所・密接場面)の回避

- ① 大会会場への入場は、登録された選手、引率者など及び大会関係者を原則とし、その他については、関係機関と連携し、利用する会場や施設の状況を見ながら判断する。
- ② 引率者等は、送迎の際、密閉空間にならないよう、定期的に換気をし、乗車人数を減らす。保護者への送迎を依頼するなどの工夫をする。
- ③ 会場内に人が密集しないように 一度に会場に入れる人数や学校数等を制限するなどの工夫をする。
- ④ コートのベンチは各コート5脚とし、アップゾーンを広く設置するなど工夫をする。
- ⑤ 常時、会場の入り口や窓を開放するか、1時間に2～3回程度、会場のドアや窓を開け換気を行うなどの工夫をする。
- ⑥ 大会本部及び引率者等は、控え場所や食事をする場所について、できるだけ2メートル空くよう、選手同士の間隔をとらせ、対面をさけ、会話は控えるよう指導する。

(4) 安全な活動環境等の確保

- ① 大会本部(専門部)は、参加校に対して大会の趣旨、感染拡大予防ガイドラインを周知徹底する。参加チームは、大会に参加する引率者等や選手及び保護者に対し、参加にあたっての注意事項等を事前に説明し、選手に参加同意書(別紙5)を提出させる。
- ② 選手の体調不良や救急搬送等の事態が発生し、保護者の同意や意向聴衆等が求められることも想定し、引率者等や学校等と保護者が確実に、速やかに連絡が取れる体制を構築しておく。
- ③ 大会本部(専門部)は、大会会場施設と感染拡大予防対策について、事前に施設と打合せを行う。
- ④ 宿泊を伴う参加については、個室を基本とするが、大部屋対応の場合は、ソーシャルディスタンスが確保できる人数で宿泊できるように、宿泊施設との調整を事前に行う。また、宿泊施設の感染拡大予防に対する指示に従うこと。
- ⑤ 大会終了後3日以内に息苦しさ(呼吸困難)・強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い風邪症状がある場合は、速やかに学校長へ連絡するとともに、大会本部(専門部)へ連絡する。

※今後の感染状況によりガイドラインに変更があった場合は、HP等でお知らせいたします。

対象者	提出書類	提出先・記録者	保管する人
選手	体調記録表(別紙1)	感染対策責任者	感染対策責任者
	大会参加同意書(別紙4)	感染対策責任者	感染対策責任者
	チーム同行者大会当日体調記録表(別紙2)へ記録	感染対策責任者が記録し、本部(感染対策委員)	本部 感染対策責任者
チーム関係者 ・登録外部員	体調記録表(別紙1)	感染対策責任者	感染対策責任者
	チーム同行者大会当日体調記録表(別紙2)へ記録	感染対策責任者が記録し、本部へ	本部 感染対策責任者
引率・監督 コーチ・帯同審判員	体調記録表(別紙1)	感染対策責任者	感染対策責任者
	来場者体調記録表(別紙3)	本部	本部
大会役員・管理職	来場者体調記録表(別紙3)	本部	本部

※会場内、校内では、所属や身分(監督・コーチ・マネージャー・選手・保護者・登録外部員等)がはっきりわかるカードを常時身につけること。